

講義シラバス

科目名	プレゼンテーションテクニック	必修 選択の別	必修	開講 区分	3S	授業 形態	演習	総時間数	15 時間
学科	トータルビューティ科	コース				学年	2年生		
講師名	棚村弘恵	講師 プロフィール	講師歴は20年現在サロンではフェイシャル・ボディトリートメントを含めアロマセラピー、脱毛を行っております。その他バリニーズマッサージ、タラソセラピーなどニーズにお応えしたトリートメントを行なってまいりました。皆さんにわかりやすく今まで以上に美容を好きになり素敵になってもらえるよう努めていきたいと思っております。						
【授業を通じての到達目標】									
①プレゼンテーション力(トーク力)②技術力③接客力を身につける。①②③スキルアップを目指し目標を達成することができるようになる									
【学習内容】									
①クライアントの状態を把握しお悩みに対してプランを提供する②考案したプランをプレゼンテーションする									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
筆記用具・指定教科書・シラバス・配布資料・各自使用道具									
日時	授業計画				日時	授業計画			
① (4/21)	【到達目標】 (オリエンテーション)今後の予定確認/シラバス確認をして目標到達を確認する				⑨ (6/23)	【到達目標】 メイク・ネイル・エステオリジナルメニューを考案、実践し目標達成することができるようになる (手順の確認・タイムを意識する)			
② (4/28)	【到達目標】 ①話の組み立て②本論③アドバイス④まとめ⑤質疑応答に沿ったプレゼンテーションの組み立てを学び目標達成する接客力・トーク力を身につける(お出迎え)				⑩ (6/30)	【到達目標】 メイク・ネイル・エステオリジナルメニューを考案、実践し目標達成することができるようになる (手順の確認・タイムを意識する)			
③ (5/12)	【到達目標】 お客様のご希望に沿うメニューの考案ができるようになる(新規編)				⑪ (7/7)	【到達目標】 メイク・ネイル・エステオリジナルメニューを考案、実践し目標達成することができるようになる (手順の確認・タイムを意識する)			
④ (5/19)	【到達目標】 お客様のご希望に沿うメニューの考案ができるようになる(2回目以降編)				⑫ (7/14)	【到達目標】 メイク・ネイル・エステオリジナルメニューを考案、実践し目標達成することができるようになる (手順の確認・タイムを意識する)			
⑤ (5/26)	【到達目標】 メニュー・商品説明が出来るようになる①				⑬ (8/25)	【到達目標】 プレゼンテーション発表(タイムを意識する)課題に沿ったマッサージを実践できるようになる			
⑥ (5/29)	【到達目標】 メニュー・商品説明が出来るようになる②				⑭ (9/1)	【到達目標】 プレゼンテーション発表(タイムを意識する)課題に沿ったマッサージを実践できるようになる			
⑦ (6/9)	【到達目標】 クロージング(ホームケア・化粧品の使用法の説明ができるようになる)①				⑮ (9/8)	【到達目標】 プレゼンテーション発表(タイムを意識する)課題に沿ったマッサージを実践できるようになる			
⑧ (6/16)	【到達目標】 クロージング(ホームケア・化粧品の使用法の説明ができるようになる)②				【成績評価の方法と基準】 ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				
【履修に当たっての心構え・留意点】									

講義シラバス

科目名	トレンドコスメ&メイクテクニック	必修 選択の別	必修	開講 区分	3S	授業 形態	実習	総時間数	60 時間
学科	トータルビューティ科	コース				学年	2年生		
講師名	新井 梨沙	講師 プロフィール	自身のトータルビューティサロンを経営しながらコスメ・メイク・ネイルの専門家として美容専門学校・企業セミナー・職業訓練等、美容教育に携わる。資格と経験を生かし技術・接客・経営・ライフワークに至るまで全てに特化したトータルビューティの授業を担当しています。						
【授業を通じての到達目標】									
様々なトレンドコスメを使いご要望のメイクを施すことができるようになる。									
【学習内容】									
様々なブランド、形態のコスメを使いこなせるようになる。また、トレンドをその方に似合うようにご提案、施術ができるようになる。									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
教材メイク道具一式・鏡・タオル					トレンドリサーチ・定期的な宿題の提出				
日時	授業計画				日時	授業計画			
① (4/18)	【到達目標】 カウンセリング・接客を理論から理解することができる オリエンテーション カウンセリング・コミュニケーション・接客理論・印象分析				⑨ (6/20)	【到達目標】 自分の成人式のメイク練習 成人式メイク			
② (4/25)	【到達目標】 お客様の肌触りができるようになる ベースメイク 肌質別特徴とメイク方法				⑩ (6/27)	【到達目標】 課題のメイクをカウンセリングして施すことができるようになる トレンドカウンセリングメイク1			
③ (5/9)	【到達目標】 アイメイクの接客に必要な用語を知り説明ができるようになる アイメイク1 トrend アイメイクの接客に必要な名称、ツール選び、接客テクニック				⑪ (7/4)	【到達目標】 課題のメイクをカウンセリングして施すことができるようになる トレンドカウンセリングメイク2			
④ (5/16)	【到達目標】 様々なアイメイク化粧品を使う様になる アイメイク2 アイライナー、まつ毛化粧品について使い方とテクニック リップメイクについて				⑫ (7/11)	【到達目標】 メイクをしてそれぞれをシートに起こすことができるようになる カウンセリングメイク2 メイクシート作成			
⑤ (5/23)	【到達目標】 眉毛を相モデルで似合う形でご提案、施術できる様になる アイブロウ 眉の形、描き方のご提案 デザインのトレンド 商品提案				⑬ (8/22)	【到達目標】 テスト準備対策 定期テスト対策			
⑥ (5/30)	【到達目標】 骨格を学び修正提案ができるようになる チーク トrend 骨格修正、ゴールデンプロポーションの理解				⑭ (8/29)	【到達目標】 テスト準備対策 定期テスト対策			
⑦ (6/6)	【到達目標】 実際にコスメカウンターでのカウンセリングを体験する コスメショッピング 教材購入準備				⑮ (9/5)	【定期試験】 60 定期テスト			
⑧ (6/13)	【到達目標】 実際にコスメカウンターでのカウンセリングを体験する コスメショッピング 教材購入				【成績評価の方法と基準】				
【履修に当たっての心構え・留意点】					●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価 (90~100点) / B評価 (80~89点) / C評価 (70~79点) / D評価 (60~69点) E評価 (出席不良・評価資格喪失) / F評価 (0~59点・不合格)				
授業出席・遅刻の厳重管理と指導/忘れ物、授業態度の指導					●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				

講義シラバス

科目名	キャリア開発	必修 選択の別	必修	開講 区分	3S	授業 形態	講義	総時間数	30 時間
学科	トータルビューティ科	コース				学年	2年生		
講師名	高木 佳子	講師 プロフィール	大手化粧品メーカーにて美容マネージャーなどを歴任。接客・社員教育などで寄与。その後北海道の化粧品メーカー役員として、商品企画制度や社員育成研修制度などを確立し、アメリカにてエアブラシメイクの資格を取得。マナーOJTインストラクターや化粧品検定コスメコンシェルジュインストラクターを取得後、現在は心とお肌の健康をテーマにサロンを自営すると共に、官庁、企業研修や高校でのソーシャルマナー、就職講座、模擬面接、接客力向上ステップ、指導力研修などを担当。札幌ベルエポックでは、接客、マナー、化粧品検定、インバウンド等の授業を担当。						

【授業を通じての到達目標】

サービス接客検定3級合格を目指す。サービス接客の実務の基本について理解ができるようになる。

基本的なサービスに必要な知識を身につける。更に社会人に必要なビジネスマナーの基本を身につけ、社会人基礎力を身につける。

【学習内容】

サービス接客検定3級 基本的なサービスの知識(専門知識、一般知識他)

接客者に求められている対人技能(身だしなみ、話し方、所作他)、ビジネスマナーの基本を学ぶ。

【使用教科書・教材・参考図書】

サービス接客検定3級(公式テキスト・実問題集) 筆記用具

【授業時間外における学習・宿題・課題など】

検定合格を目指して、自身で覚える工夫をする。宿題提出

日時	授業計画	日時	授業計画
① (4/18)	【到達目標】2 サービス接客検定の概要、ビジネスマナーの必要性を理解できるようになる 授業内容を理解し、自身の目標が立案できるようになる	⑨ (6/20)	【到達目標】3 サービス接客検定 対人技能 話し方 接客用語・基本的な話し方・提示、説明の仕方について理解できるようになる
② (4/25)	【到達目標】2 サービス接客検定 サービススタッフの資質 必要とされる要件について理解できるようになる	⑩ (6/27)	【到達目標】3 サービス接客検定 対人技能 服装 接客者としての適切な服装について理解できるようになる
③ (5/9)	【到達目標】3 サービス接客検定 サービススタッフの資質 従業員要件について理解できるようになる	⑪ (7/4)	【到達目標】3 サービス接客検定 実務技能 問題処理 問題処理について理解できるようになる
④ (5/16)	【到達目標】3 サービス接客検定 専門知識 サービス知識 意義・機能・種類について理解できるようになる	⑫ (7/11)	【到達目標】3 サービス接客検定 実務技能 環境整備 環境整備について理解できるようになる
⑤ (5/23)	【到達目標】3 サービス接客検定 専門知識 従業知識 商業用語・経済用語について理解できるようになる	⑬ (8/22)	【到達目標】3 サービス接客検定 実務技能 金品管理 金品管理について理解できるようになる
⑥ (5/30)	【到達目標】3 サービス接客検定 一般知識 社会常識 社会常識について理解できるようになる	⑭ (8/29)	【到達目標】3 サービス接客検定 実務技能 社交業務 金品社交業務について理解できるようになる
⑦ (6/6)	【到達目標】3 サービス接客検定 対人技能 人間関係 一般的人間関係について理解できるようになる	⑮ (9/5)	【定期試験】60 サービス接客3級 これまでの授業で身につけた知識をペーパーテストで確認
⑧ (6/13)	【到達目標】3 サービス接客検定 対人技能 接客知識 対人心理・接客者としてのマナーの心得について理解できるようになる	【成績評価の方法と基準】 ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。	
【履修に当たっての心構え・留意点】 忘れ物・授業受講姿勢についての指導、必要項目のメモを取る 授業出席・遅刻の厳重管理と指導			

講義シラバス

科目名	接客販売カウンセリング	必修 選択の別	必修	開講 区分	3S	授業 形態	講義	総時間数	30 時間
学科	トータルビューティ科	コース				学年	2年生		
講師名	和田 壘	講師 プロフィール	横浜の大手結婚式会場でウエディングプランナーとして勤務。後に結婚式をはじめとした司会とマナー講師を兼業。現在はフリーウエディングプランナー兼フォトディレクターとして結婚写真のディレクションを行う。また結婚相談所にて婚活カウンセラーも兼業。一般・ビジネスマナーをベースに接客販売におけるコミュニケーションを通じたカウンセリングに関する授業を担当。						
【授業を通じての到達目標】									
接客、販売員としての役割を知り、カウンセリング方法、接客マナーやシナリオの構築など現場で生きるスキルを身に着ける。また、主体性を持った社会人を目指し、自分自身をセルフコントロールできるようになる。									
【学習内容】									
社会で求められるコミュニケーション、ヒアリング、セールストーク等の接客販売業に必要な不可欠な能力を習得する。									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
ノート・筆記用具・配布プリント					定期的なミニレポート・課題提出・実践				
日時	授業計画				日時	授業計画			
① (4/21)	【到達目標】 シラバスの説明 「1分自己紹介」を作成し、就職面接や社会生活に応用できるようにする。				⑨ (6/23)	【到達目標】 セールストーク:「〇〇を売る」を基に、商品知識の情報収集と「販売」ためのセールストークを使用した接客シナリオを考える。			
② (4/28)	【到達目標】 自分と相手の違いを知り、人との関わり方を知る。 円滑なコミュニケーションをとることができるようになる。				⑩ (6/30)	【到達目標】 「好かれる接客員」「話したくなる接客員」の話し方のポイントを知り、お客様に合わせた対応方法を考えることができるようになる。			
③ (5/12)	【到達目標】 自分の個性や強みを理解して自己分析&セルフプロデュースを行い、自らをブランディングできるようにする。				⑪ (7/7)	【到達目標】 セールストーク&テクニックのつかい方を習得し、販売接客のロールプレイングに向けて自らの接客シナリオを完成させる。 ロールプレイングの役割について学ぶ。			
④ (5/19)	【到達目標】 どの接客業にも必要な基本的なビジネスマナーを身につける。				⑫ (7/14)	【到達目標】 理想の接客シナリオの実践/ロープレイング 販売員・お客様・評価者 それぞれの視点でロールプレイングを行い顧客満足度について考察する			
⑤ (5/26)	【到達目標】 視覚、聴覚、言語からの情報を整え、初対面で好印象を与える第一印象の作り方を習得する。				⑬ (8/25)	【到達目標】 理想の接客シナリオの実践/ロープレイング 販売員・お客様・評価者 それぞれの視点でロールプレイングを行い顧客満足度について考察する			
⑥ (6/2)	【到達目標】 販売接客に必要なスキルを知り、カウンセリング・ヒアリング・セールストークの基本概念とモチベーションを維持する方法を身に着ける。				⑭ (9/1)	【到達目標】 理想の接客シナリオの実践/ロープレイング 販売員・お客様・評価者 それぞれの視点でロールプレイングを行い顧客満足度について考察する			
⑦ (6/9)	【到達目標】 社会人としての心構えとして学生と社会人の違いを理解し、仕事で多くのストレスを抱えない為にポジティブ思考へ変換する方法を身につける。				⑮ (9/8)	【定期試験】60 定期試験			
⑧ (6/16)	【到達目標】 グループワーク 他者との関わりの中で目的を達成する秘訣を習得する				【成績評価の方法と基準】 ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				
【履修に当たっての心構え・留意点】									
授業出席・遅刻の厳重管理 言葉遣い、立ち居振る舞い等、授業態度の指導									

講義シラバス

科目名	アシスタントテクニク	必修 選択の別	必修	開講 区分	3S	授業 形態	演習	総時間数	5 時間
学科	トータルビューティ科	コース				学年	2年生		
講師名	越野 友貴子	講師 プロフィール	ラッピングコーディネーター、フードコーディネーター 専門学校や自治体、企業などでラッピングの技術指導のほか、広告撮影などに携わる						
【授業を通じての到達目標】									
現場で役立つラッピングの基本技術や贈答のマナーを習得する。 お客様に満足していただけるラッピングができるようになる。									
【学習内容】									
箱の包装、リボンがけ、贈答のマナーについて 基本的な包装技術のほか、箱のサイズに適した紙どりや、きれいに手早く仕上げるコツなどを学ぶ									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
箱、包装紙、リボン、カッター、セロハンテープなど					特にありません				
日時	授業計画				日時	授業計画			
① (/)	【到達目標】				⑨ (/)	【到達目標】			
② (/)	【到達目標】				⑩ (/)	【到達目標】			
③ (/)	【到達目標】				⑪ (7/9)	【到達目標】紙の切り方、合わせ包みをマスターする 基本の包装① 合わせ包み、紙の切り方、包装の種類 (小テスト2点)			
④ (/)	【到達目標】				⑫ (7/14)	【到達目標】合わせ包みと蝶結びをマスターする 基本の包装② 合わせ包み(うす箱)、横一文字がけ、プチギフト(小テスト2点)			
⑤ (/)	【到達目標】				⑬ (8/25)	【到達目標】斜め包みと斜めがけリボンをマスターする 基本の包装③ 斜め包み、斜めがけリボン(小テスト3点)			
⑥ (/)	【到達目標】				⑭ (9/1)	【到達目標】キレイに短時間で斜め包みができるようにする。贈答のマナーを学ぶ 基本の包装④ 斜め包み(実践編)、十字がけリボン、贈答のマナーについて(小テスト3点)			
⑦ (/)	【到達目標】				⑮ (9/8)	【定期試験】10 まとめ 定期試験(実技10点)			
⑧ (/)	【到達目標】				【成績評価の方法と基準】 ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				
【履修に当たっての心構え・留意点】									

講義シラバス

科目名	アシスタントテクニク	必修 選択の別	必修	開講 区分	3S	授業 形態	演習	総時間数	10 時間
学科	トータルビューティ科	コース				学年	2年生		
講師名	棚村弘恵	講師 プロフィール	講師歴は20年現在サロンではフェイシャル・ボディトリートメントを含めアロマセラピー、脱毛を行っております。その他バリニーズマッサージ、タラソセラピーなどニーズにお応えしたトリートメントを行なってまいりました。皆さんにわかりやすく今まで以上に美容を好きになり素敵になってもらえるよう努めていきたいと思っております。						
【授業を通じての到達目標】									
お客様に対して満足していただく所作・言葉使い・コミュニケーションなど接客業マナーを身につける									
【学習内容】									
①お客様の状態を把握しお悩みに対してプランを提供する②考案したプランを提供する									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
筆記用具・指定教科書・シラバス・配布資料・各自使用道具									
日時	授業計画				日時	授業計画			
① (4/21)	【到達目標】 (オリエンテーション)今後の予定確認/シラバス確認をして目標到達を確認する				⑨ (6/23)	【到達目標】 メイク・ネイル・エステメニューを考案、実践し目標達成することができるようになる(手順の確認・タイムを意識する)			
② (4/28)	【到達目標】 サービス業としての意識・役割と責任・専門技術者としての自覚を身につけ実際サロンで働くイメージを見つけることができるようになる(所作)				⑩ (6/30)	【到達目標】 メイク・ネイル・エステメニューを考案、実践し目標達成することができるようになる(手順の確認・タイムを意識する)			
③ (5/12)	【到達目標】 サービス業としての意識・役割と責任・専門技術者としての自覚を身につけ実際サロンで働くイメージを見つけることができるようになる(言葉使い)				⑪ (7/7)	【到達目標】			
④ (5/19)	【到達目標】 サービス業としての意識・役割と責任・専門技術者としての自覚を身につけ実際サロンで働くイメージを見つけることができるようになる(コミュニケーション)				⑫ (7/14)	【到達目標】			
⑤ (5/26)	【到達目標】 サービス業に基づいて実践(ハンドマッサージができるようになる)				⑬ (8/25)	【到達目標】			
⑥ (5/29)	【到達目標】 サービス業に基づいて実践(マッサージができるようになる)				⑭ (9/1)	【到達目標】			
⑦ (6/9)	【到達目標】 アウターケア(ホームケア・化粧品の使用法の説明ができるようになる)①				⑮ (9/8)	【定期試験】60			
⑧ (6/16)	【到達目標】 アウターケア(ホームケア・化粧品の使用法の説明ができるようになる)②				【成績評価の方法と基準】 ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				
【履修に当たっての心構え・留意点】									

講義シラバス

科目名	ブランド別スキンケア	必修 選択の別	必修	開講 区分	3S	授業 形態	演習	総時間数	15 時間
学科	トータルビューティ科	コース				学年	2年生		
講師名	大槻 亜由美	講師 プロフィール	短大卒業後、国産化粧品メーカーに入社。ビューティーコンサルタントとして百貨店にて勤務。現在はコールセンターにて化粧品メーカー2社のトレーナーとして勤務。研修、OJTなどを行っている						
【授業を通じての到達目標】									
各化粧品ブランドのスキンケアアイテムとお手入れ法を理解する。実習を通して商品の説明をしっかりと行えるプレゼンテーション力と化粧品現場でのお手入れテクニックを習得する。									
【学習内容】									
<ul style="list-style-type: none"> ・国産・外資のスキンケアラインを学ぶ ・各ブランドのお手入れ法を学ぶ ・相モデルでマッサージをメインにしたフェイシャルケアテクニックを学ぶ 									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
(持参物)コットン・ティッシュ・実習用スキンケア一式・筆記用具・ノート									
日時	授業計画				日時	授業計画			
① (4/20)	【到達目標】 授業オリエンテーション。この授業で学ぶことを理解し、各自目標設定を行う。外資・国産ブランドで支持されているスキンケアアイテムをリサーチする。				⑨ (6/22)	【到達目標】 外資ブランドのスキンケアラインとお手入れ法を理解する			
② (4/27)	【到達目標】 化粧品現場でのスキンケアタッチアップ法を習得する。椅子に座っているお客様にクレンジング～化粧水～乳液までをお付けできるようになる				⑩ (6/29)	【到達目標】 外資ブランドのスキンケアラインとお手入れ法を理解する			
③ (5/11)	【到達目標】 化粧品現場でのスキンケアタッチアップ法を習得する。椅子に座っているお客様にクレンジング～化粧水～乳液までをお付けできるようになる				⑪ (7/6)	【到達目標】 セルフフェイシャルマッサージのテクニックを習得する			
④ (5/18)	【到達目標】 (購買実習リサーチ)購買実習に向けて各グループでアイテムリサーチを行う				⑫ (7/13)	【到達目標】 相モデル実習で化粧品現場におけるフェイシャルマッサージテクニックを習得する。			
⑤ (5/25)	【到達目標】 (購買実習下見)百貨店でプロの接客を受け、購入予定アイテムを確認する				⑬ (8/24)	【到達目標】 相モデル実習で化粧品現場におけるフェイシャルマッサージテクニックを習得する。クレンジング～化粧水～マッサージ～収れん化粧水～乳液までの一連の流れを行える。			
⑥ (6/1)	【到達目標】 購買実習。スキンケアアイテムの購入。接客を受けて感じたことをグループディスカッションで共有する。				⑭ (8/31)	【到達目標】 相モデル実習で化粧品現場におけるフェイシャルマッサージテクニックを習得する。クレンジング～化粧水～マッサージ～収れん化粧水～乳液までの一連の流れを行える。			
⑦ (6/8)	【到達目標】 国産ブランドのスキンケアラインとお手入れ方法を理解する。				⑮ (9/7)	【定期試験】 相モデルでのマッサージ試験。手順はもちろん、お客様への気配り、姿勢、笑顔、言葉使い、時間管理なども評価項目とし試験を行う			
⑧ (6/15)	【到達目標】 国産ブランドのスキンケアラインとお手入れ方法を理解する。				【成績評価の方法と基準】				
【履修に当たっての心構え・留意点】					<ul style="list-style-type: none"> ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。 				

講義シラバス

科目名	コスメエチュード レベル2	必修 選択の別	必修	開講 区分	3S	授業 形態	講義	総時間数	30 時間
学科	トータルビューティ科	コース				学年	2年生		
講師名	高木 佳子	講師 プロフィール	大手化粧品メーカーにて美容マネージャーなどを歴任。接遇・社員教育などで寄与。その後北海道の化粧品メーカー役員として、商品企画制度や社員育成研修制度などを確立し、アメリカにてエアブラシメイクの資格を取得。マナーOJTインストラクターや化粧品検定コスメコンシェルジュインストラクターを取得後、現在は心とお肌の健康をテーマにサロンを自営すると共に、官庁、企業研修や高校でのソーシャルマナー、就職講座、模擬面接、接客力向上ステップ、指導力研修などを担当。札幌ベルエポックでは、接遇、マナー、化粧品検定、インバウンド等の授業を担当。						
【授業を通じての到達目標】									
化粧品検定2級合格を目指す 自分がキレイになり、人を美しく導くための知識を身につけることができるようになる									
【学習内容】									
化粧品検定3級(自分の知識を正す)合格 2級範囲 皮膚の構造や肌悩みに対する化粧品の選び方やメイク方法、美肌に導く美容知識を習得できるようになる									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
化粧品検定2級・3級対策テキスト(コスメの教科書)・問題集・筆記用具・ノ					2級検定合格を目指し、自身で覚える為の工夫をする。宿題提出				
日時	授業計画				日時	授業計画			
	【到達目標】2					【到達目標】3			
① (4/18)	授業内容を理解し、自身の目標設定を行う 間違えがちな美容知識を学ぶ、今日からすぐに実践できる知識を習得する クレンジング・洗顔の基本を理解できるようになる				⑨ (6/20)	<メイクアップの基本テクニック> 検定における手順と肌悩みに応じた化粧品の使い方を習得する 肌を劣化させる様々な要因(外的要因・内的要因)を理解できるようになる			
② (4/25)	【到達目標】2 化粧品・乳液/クリーム・美容液の基礎知識 勘違いがちな肌悩みの対処法/スペシャルケアに関する疑問 日焼け止めの基本を理解できるようになる				⑩ (6/27)	【到達目標】3 <これを知っておけば美肌への近道> 肌を劣化させるさまざまな要因について理解できるようになる			
③ (5/9)	【到達目標】3 メイクアップの基本～ヘアケアの基本手や爪の特徴/ 日本・海外の化粧品の違いについて理解できるようになる <3級検定資格試験の合格を目指す>				⑪ (7/4)	【到達目標】3 <紫外線 正しい知識で完全ガード> 紫外線が肌に与える影響 種類・紫外線量、日焼け止めの選び方を理解できるようになる			
④ (5/16)	【到達目標】3 皮膚の構造:断面図で皮膚の成り立ち/皮膚のしくみと働きを理解できるようになる				⑫ (7/11)	【到達目標】3 <筋肉と骨格とリンパの基礎知識> 化粧品効果的なマッサージの必要性と方法 <身体の生理作用と美しい肌をつくる>生活習慣について理解できるようになる (睡眠/食事&飲み物/運動/入浴)			
⑤ (5/23)	【到達目標】3 真皮のしくみ/皮膚の機能 肌タイプ・季節と肌乾燥の原因とお手入れを理解できるようになる				⑬ (8/22)	【到達目標】3 模擬テスト 化粧品検定を振り返り、自身の苦手箇所と今後の課題を理解できるようになる			
⑥ (5/30)	【到達目標】3 <肌の手入れと正しい知識> 肌の基本知識を知ること、より効果のあるお手入れ方法を学ぶ ニキビ/毛穴の種類を知り、タイプ別・お手入れ方法を理解できるようになる				⑭ (8/29)	【到達目標】3 模擬テスト 3級・2級内容総復習 苦手箇所を理解し、課題クリアできるようになる			
⑦ (6/6)	【到達目標】3 <肌の手入れと正しい知識> 肌の基本知識を知ること、より効果のあるお手入れ方法を学ぶ シミ/くすみの種類を知理、タイプ別・お手入れ方法を理解できるようになる				⑮ (9/5)	【定期試験】60 検定試験 日本化粧品検定実施 2級受講 試験時間50分 60問			
⑧ (6/13)	【到達目標】3 <肌の手入れと正しい知識> 肌の基本知識を知ること、より効果のあるお手入れ方法を学ぶ <ま/しわ/たるみの種類を知り、タイプ別・お手入れ方法を理解できるようになる				【成績評価の方法と基準】				
【履修に当たっての心構え・留意点】					●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				
忘れ物、授業受講姿勢についての指導 必要項目は、メモを取る 授業出席・遅刻の厳重管理と指導									

講義シラバス

科目名	オーガニックコスメフレグランス	必修 選択の別	必修	開講 区分	3S	授業 形態	演習	総時間数	15 時間
学科	トータルビューティ科	コース				学年	2年生		
講師名	大槻 亜由美	講師 プロフィール	短大卒業後、国産化粧品メーカーに入社。ビューティーコンサルタントとして百貨店にて勤務。現在はコールセンターにて化粧品メーカー2社のトレーナーとして勤務。研修、OJTなどを行っている						

【授業を通じての到達目標】

国産ブランド・外資ブランドのフレグランスの歴史やストーリー、そして香りを楽しむ上での基礎知識を身に付け自分磨きに役立てる。
オーガニックコスメの位置付けとお客様ニーズ、業界動向を知り、化粧品知識の幅をひろげる

【学習内容】

沢山のフレグランスを試しながら香りの歴史、種類、違いを学んでいく
オーガニックコスメのブランドと商品ラインナップを学んでいく

【使用教科書・教材・参考図書】

(持参物)筆記用具・ノート

【授業時間外における学習・宿題・課題など】

日時	授業計画	日時	授業計画
① (4/20)	【到達目標】 授業オリエンテーション。フレグランスの種類、違い、正しい使用方法を理解する。各自フレグランスのリサーチを行う	⑨ (6/22)	【到達目標】 オーガニックのスキンケアブランドとアイテムを理解する
② (4/27)	【到達目標】 【シャネル】シャネルのフレグランスの歴史、フレグランスの種類、ストーリーを理解し香りを試す。シチュエーションを考えご紹介できるようになる	⑩ (6/29)	【到達目標】 オーガニックのメイクブランドとアイテムを理解する
③ (5/11)	【到達目標】 【ディオール】ディオールのフレグランスの歴史、フレグランスの種類、ストーリーを理解し香りを試す。2種類のフレグランスの違いを感じご紹介できるようになる	⑪ (7/6)	【到達目標】 オーガニックコスメプレゼンシートを作成する
④ (5/18)	【到達目標】 【YSL】YSLのフレグランスの歴史、フレグランスの種類、ストーリーを理解し香りを試す。お客様ニーズに合わせてフレグランスをご紹介できるようになる。	⑫ (7/13)	【到達目標】 オーガニックコスメグループプレゼンテーション。プレゼンシートを用いてグループでプレゼンを行う。様々なブランドや商品を知りオーガニックコスメの知識を深める
⑤ (5/25)	【到達目標】 【ティファニー】ラグジュアリーブランドのフレグランスリサーチを行う。香りを試し、香りの魅力を相手に伝えられるようになる。	⑬ (8/24)	【到達目標】 定期試験用フレグランスプレゼンシート作成
⑥ (6/1)	【到達目標】 国産ブランドのフレグランスを理解する。国産ブランドのフレグランスの位置付けを理解し外資ブランドとの違いを感じ香りを試しながらプレゼンできるようになる	⑭ (8/31)	【到達目標】 定期試験用フレグランスプレゼンシート作成
⑦ (6/8)	【到達目標】 国産ブランドのフレグランスを理解する。国産ブランドのフレグランスをリサーチし香りの魅力をプレゼンできるようになる。	⑮ (9/7)	【定期試験】 フレグランスプレゼンテーション。シートの出来栄、そしてプレゼンテーション力も評価ポイントとし、定期試験を行う
⑧ (6/15)	【到達目標】 オーガニックコスメを知る。オーガニックコスメの定義、ブランド、お客様ニーズを理解する。	【成績評価の方法と基準】 ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。	
【履修に当たっての心構え・留意点】			
授業の取り組み姿勢、積極的な参加それらも小テストの評価ポイントとする			

講義シラバス

科目名	ネイルテクニック	必修 選択の別	必修	開講 区分	3S	授業 形態	実習	総時間数	60 時間
学科	トータルビューティ科	コース				学年	2年生		
講師名	大窪	講師 プロフィール	日本ネイリスト協会本部認定講師、ネイルアトリエmipccip(ミップチップ) 主宰 サロンワーク・ネイル技術指導のほか、検定審査、ネイルスクール講師、セミナー講師など、多岐にわたる活動をしている						
【授業を通じての到達目標】									
ネイル技術の学びを通し、人を美しく導く力を身につける									
【学習内容】									
人も自分も美しくできるための、ネイルケア・ジェルネイル技術の習得									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
ネイル教材一式、ノート、筆記用具、アート用品 SNS、雑誌など					自主練習、デザイン考案のための資料準備など				
日時	授業計画				日時	授業計画			
① (4/20)	【到達目標】 支えをとり、安定した状態でファイリング～カラーリングができるようになる				⑨ (6/22)	【到達目標】 ジェルネイルアートをお客様に施術し、美しく仕上げることができるようになる			
② (4/27)	【到達目標】 カラーリング手順のバリエーションを学び、はみ出しなく仕上げることができるようになる				⑩ (6/29)	【到達目標】 オンライン セルフで装着するフットジェルネイルができるようになる			
③ (5/11)	【到達目標】 ポリッシング&ハンドトリートメントで手指全体を美しく仕上げることができるようになる				⑪ (7/6)	【到達目標】 ファッションや持ち物から着想を得たデザインをネイルチップに施すことができる			
④ (5/18)	【到達目標】 支えをとり、安定した状態で用具を使用し、ネイルケア～カラーリングができるようになる				⑫ (7/13)	【到達目標】 シチュエーションに合わせたデザインを考案し、ネイルチップに施すことができる			
⑤ (5/25)	【到達目標】 ネイルケア～ポリッシング～カラーリングを効率よく美しく仕上げることができる				⑬ (8/24)	【到達目標】 ヘアメイクに合わせたデザインを考案し、ネイルチップに施すことができる			
⑥ (6/1)	【到達目標】 ネイルケア～カラーリングの技術とともに、セッティングや身だしなみに至るまで行き届いた心配りで、お客さまへの施術ができるレベルになる				⑭ (8/31)	【到達目標】 ネイルチップ制作の準備 自分がしたいファッション・ヘアメイクに合わせたネイルデザインを考案し、プレゼンテーションシートを完成させる			
⑦ (6/8)	【到達目標】 ジェルネイルの基礎的な装着と除去の方法を学び、自分のネイルを上げることができるようになる				⑮ (9/7)	【定期試験】60 考案したネイルデザインをチップに施すことができる ファッション・ヘアメイクも完成させ、フォトジェニックな写真を撮る			
⑧ (6/15)	【到達目標】 ジェルネイルのワンカラーとアートを学び、お客様に装着できるようになる				【成績評価の方法と基準】				
					<ul style="list-style-type: none"> ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。 				